

【新潟公演】

2017年12月20日(水) 18:30開演

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館・劇場

全席指定 / S席 ¥6,500 A席 ¥5,500

U25シート ¥2,500(税込)

U25シート 【対 象】25歳以下の方 *未就学児を除く
【取扱い】りゅーとぴあのみ(電話・窓口・オンライン)
*座席はバルコニー席、客席両端など多少観づらいお席となります。
*ご入場時に年齢のわかるものをご提示いただきます。

チケット発売日 / 2017年10月20日(金)

演劇バル・N-PACmate(友の会)先行 / 10月14日(土)

《チケット予約》

●りゅーとぴあ(電話・窓口・オンライン)

・チケット専用ダイヤル 025-224-5521 *11:00~19:00 / 休館日を除く
・オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

●チケットぴあ

0570-02-9999 (Pコード:481-917)
<http://w.pia.jp/t/nylon100c/>

●ローソンチケット

0570-000-407(オペレーター予約 *10:00~20:00)
ローソン・ミニストップ店内Loppi(Lコード:35297)
<http://l-tike.com/nylon44th>

◆チケットご購入の際のご注意

(以下のことをご了承の上、チケットをお買い求めくださいますようお願い申し上げます。)
・未就学児童はご入場いただけません。また小学生以上の方はチケットが必要です。
・お買い上げいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。
・やむをえない事情により、出演者等が変更されることがあります。
・車椅子席はチケット購入時にお申し出ください。(りゅーとぴあのみで取り扱います。)

◆サポートシステムのご案内

お申込先 / りゅーとぴあチケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521

●託児サービス / 対 象 : 生後6ヶ月~小学2年生まで
託児料 : 未就学児1人1,000円、小学1・2年生1人1,500円

*公演日の2週間前までにお申し込みください。なお定員になり次第、締め切らせていただきます。

*公演日前1週間を過ぎてのキャンセルは託児料金と同額のキャンセル料が発生します。

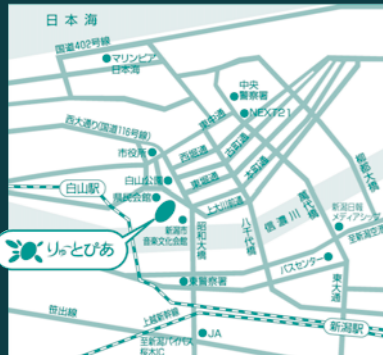
●難聴者赤外線補聴システム / あらかじめお申し込みください。

●お申込・お問合せ

りゅーとぴあチケット専用ダイヤル

TEL:025-224-5521 *11:00~19:00 / 休館日は除く

◆会館のご案内



- ・新潟駅万代口より車で15分
- ・関越自動車道 / 磐越自動車道新潟中央J.C.より車で20分
- ・新潟駅万代口よりバスで15分~20分 萬代橋ライン(BRT)青山方面行「市役所前」下車 徒歩5分
- ・新潟空港より車で30分

◆白山公園駐車場の案内

●白山公園駐車場A.B.C.D合わせて約580台

*身障者用駐車スペースを用意しております。

*りゅーとぴあには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、
自家用車は白山公園駐車場(有料30分100円)をご利用いただけますが、混雑する場合もあり
ますので、あらかじめご了承ください。

駐車料金のお支払いは、プリペイドカードがたいへん便利でお得です。2,000円のカードで3,000円分の
駐車場をご利用いただけます。りゅーとぴあ2Fの自動販売機でお買い求めください。



ナイロン100°C 44th SESSION

ちよつと、
まっつてくたさい



2017年12月20日(水) りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館・劇場

作・演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ

出演

三宅弘城	大倉孝二	みのすけ	犬山イヌコ	峯村リエ
村岡希美	藤田秀世	廣川三憲	木乃江祐希	小園茉奈
水野美紀	遠藤雄弥	マギー		

STAFF

音楽:鈴木光介 美術:BOKETA 照明:関口裕二 音響:水越佳一 映像:上田大樹
衣裳:宮本宣子 ヘアメイク:宮内宏明 演出助手:山田美紀 舞台監督:竹井祐樹 福澤諭志

宣伝美術:はらだなおこ 印刷:大洋印刷
プロデューサー:高橋典子 制作統括:川上雄一郎 制作:前田優希 瀬藤真央子 仲谷正資 藤野和美 票券:北里美織子 広報宣伝:米田律子 制作:北牧裕幸
協力:アノレ アクロス エンタテインメント 大人計画 オフィス・モレ Krei シス・カンパニー ダックスープ マッシュ ワタナベエンターテインメント
企画・製作:シリウワーク キューブ
主催:公益財団法人新潟市芸術文化振興財団



ナイロン100℃ 44th SESSION

ちまひん、 まひん、おれん

大変お待たせしてしまった。ナイロン100℃の公演、2年前の「消失」は再演だった。新作は3年ぶりとなる。再始動を謳うのはどうにも大袈裟だが、また、もう少しの間、劇団員と共に、少々歳をとった今の我々にしか創り得ない舞台を創り続けようと思っている。この度書こうと考えているのは乞食と金持ちが入れ替わる物語だ。と書くと「そりゃ、あれじゃないか、『王子と乞食』じゃないか」と言う者もあろう。敢えて否定せず、観て驚いてもらう手もなくはないものの、やはりここはキッパリと言っておく。「まっつっつたく違います」。まず、王子は出ない。乞食と入れ替わるのは金持ちであり、また、金持ちも乞食も「家族」、つまり複数だ。単数より多い。多けりゃ勝ちというものではないが。現代における道化としての、金持ちの家族と乞食の家族。彼らは、紋切型の言葉で言えば日常的な生活空間からこぼれ落ちた人々だが、それだけに、或る演劇的な佇まいを見せている。彼らほど、我々の今を代表する道化師にふさわしい者たちはいない。これ以上のことは、ちょっと、まっつっつてください。

主宰 ケラリーノ・サンドロヴィッチ

